

8 がつ

ほけん だより

H30.8.3 看護師 宮原博子

本当に暑い日が続きますね！暑すぎて今年はセミやカブトムシ採取の話もあまり聞かないような気がします・・・。昆虫たちも涼を求めて隠れているのかな？夏は出かける機会も多く、甘いもの、冷たいもの、夜更かし・・・など たくさんの誘惑があります。それらをほどほどに楽しみながら、事故に気をつけて夏の思い出をたくさん作られてくださいね♪



先月も熱中症についてのお知らせをしましたが、8月下旬～9月上旬も再び酷暑になるのではないかと予想されています。子どもは症状を訴えることが上手くできません。一緒にいる大人が子ども達の体調の変化に気付いてあげられるように心がけたいものですね。

さて夏場の車内はあっという間に高温になります。特にチャイルドシートは体を包み込むように設計されていますので、暑くなっているシートに座るだけで子ども達の体温も上がってしまいます。（登園する頃には身体に熱がこもり、38度近いお熱のお友だちもおられます。）またシートベルトの金具もヤケドしそうなほど高温になることがあります。乗車前には車内の空気を入れ替えて温度を下げたり、上手に保冷剤を活用するなどして、乗車時間が短い時間であっても快適な環境を作ってあげましょう。チャイルドシートやベビーカーに敷く市販の保冷シートを活用されている方も多いようです☆

「熱中症？」そのときに 子どもたちが大好きな夏ですが、熱中症には注意を。子どもに異変があったら、すぐに手当てをして重症化を防ぎましょう。

1 涼しい場所に移動する

風通しのよい日陰や涼しい室内に運んで寝かせ、服のボタンやベルトを外す。

2 体を冷やす

ぬらしたタオルで体をふき、うちわや扇風機の風を当てて体にこもった熱を逃がす。

3 水分を少しずつ与える

麦茶や子ども用のイオン飲料などをひと口ずつ与える。一度に飲ませず、様子を見ながら。

注意！！ 39℃以上の発熱があり、ぐったりして意識がないときは救急車を呼びます

保冷剤の使い方

- 冷やしたタオル
- タオルに包んだ保冷剤
- 冷えた缶ジュースなどを挟んで冷やすと効果的

7月の感染症状況

ひかり組・・・	なし
にじ組・・・	なし
そよかぜ組・・・	なし
以上児・・・	溶連菌感染症 1名 流行性角結膜炎 1名

7月は発熱などで体調を崩して、夏風邪と診断されたお友だちが多くみられました。



暑い時期になり保育園で子どもたちが使っている水筒やマグにもヌメリや黒ズミ（カビ）を見かけることが増えました。水洗い

だけではヌメリやカビまでは洗えていません。汚れを落とすには、使用の度に水筒やボトル用の軟らかいスポンジに食器用洗剤をつけて洗い、しっかりと洗い乾燥させることが大切です。カビが発生した時は、塩素系漂白剤を使用するなどして清潔に保ちましょう！

